会派清新
**荒木文一**

## 水害時の避難について

**質問**　全国的に大規模な水害リスクが高まっている。本市における避難に関する発令（避難勧告、避難指示）について、石狩川や空知川に特定し、危険水位を含むどのような基準が設定されているのか伺う。

**答弁**　平成22年８月に避難勧告の判断・伝達マニュアルを作成し、それぞれの河川の水位により避難判断を行っています。

　石狩川では、新十津川町の橋本町水位観測所や深川市の納内観測所、空知川については赤平水位観測所の水位を参考としています。実際に発令するときには、上流の水位状況に加え、札幌開発建設部より提供される水位予測なども参考にして判断することとなります。

## ちゅうちょなき発令について

**質問**　避難発令には大変難しい判断が必要ですが、人的被害を出さないためとは言え、仮に乱発しても許容される市民コンセンサスが重要と考えるが見解を伺う。

**答弁**　避難自体が市民生活に大きな影響が及ぶこととなり、難しい判断が求められると考えます。

　しかし、何より命を守ることを最優先とし、避難発令をちゅうちょすることなく、迅速に市民に伝達することが必要だと考えています。

## 教員の働き方改革について

**質問**　教職員の過重労働を見直すため、職員会議の廃止、事務機能の一元化、18時以降の電話対応の廃止など全国的な改革事例が見られます。本市での検討状況を伺う。

**答弁**　道教委が示した北海道アクションプランをもとに、本市の学校教育における働き方改革教職員業務改善推進プランを作成しているところです。

　具体的には、本来業務に専念できる環境整備、部活動指導に関わる負担軽減、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実、教育委員会による学校サポート体制の充実の４つの観点から改善を目指していきます。

会派清新
**柴田文男**

## 雇用対策について

**質問**　長らく続く人手不足に対応し、雇用対策は引き続き重要課題と考える。

　人材定着に向けた、女性や高齢者の就業支援、さらには外国人の実習、就業促進協議会の取り組みなどさまざまな視点があるが、地域雇用の課題にどう取り組む考えなのか伺う。

**答弁**　雇用対策は、重要な地域課題であると考えます。

　人材定着に向けた雇用対策としては、昨年７月に関係団体とともに滝川人材定着推進協議会を設立し、市内の高等学校および短大、関係機関が連携しながら、企業見学バスツアーや合同企業説明会、セミナーの開催、企業訪問などを実施し、企業向けヒアリングを行いました。

　女性や高齢者の就業支援は、連携協定を結ぶ大手コンビニエンスストアと提携し、お仕事説明会などを開催するとともに、外国人の実習・就業の促進策として、２月に市内企業向けの説明会を開催しました。特に外国人技能実習制度については、国に対し必要な要請を引き続き行うとともに市内企業への制度周知に努め、地域雇用の課題解決に取り組みます。

## 外国人観光客の取り組みについて

**質問**　近年の外国人観光客の増加に伴う、本市の知名度の拡大はとても重要と考える。外国人旅行者のニーズを把握し、「稼げる観光」を目指すため、地域全体が潤う仕組みづくりをたきかわ観光協会とも連携し、作り上げることを検討すべきだと思うが、市の考えを伺う。

**答弁**　国は、２０２０年に外国人旅行客数を４，０００万人、北海道は５００万人を目標に定める中、本市の外国人観光客数は29年度で２，４００人を超えました。

　市としてもたきかわ観光協会との連携の下、スカイスポーツやカヌーなどの体験型と食による観光資源を充実させ、稼げる観光を目指したいと考えます。